

12月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川:左右岸 15.0km～21.0km
			管轄出張所:岡崎・安城出張所
実施日	令和 6 年 12 月 6 日	実施区間	15.0km ～21.0km (左岸)

冬の様相広がる、河川敷の野草群 時折冷たい風が、肌を刺す

比較的暖かかった秋も終りを告げ、12月に入ると、さすがに冷たい風が時折肌を刺すようになりました。

河川敷きの野草群は全体が茶系統に変わってきました。この時期、川の水量は安定し、穏やかな表情を見せていました。遠くに見える中州も、何となく安らぎを与えてくれました。(写真① 左岸堤防から 15Km付近)



①冬の様相を見せ始めた河川敷の野草群

作業員、堤防の安全度を点検 「年に、2回取り組む」と説明が

美矢井橋付近では作業員が堤防の点検をしていました。作業員に話を聞くと、「出水前(4・5・6月ころ)と出水後(10, 11.12月ころ)の年2回、堤防の点検活動をする」ということでした。

(写真②美矢井橋付近堤防)

(写真③美矢井橋 河川敷公園)

矢作川の堤防は素人目には盤石のように見えますが、やはり日頃の点検活動をこのようにやっていただくと、安心感が増えます。



②堤防の点検作業に取り組む作業員
「年2回行う」と説明してくれました

クロガネモチの赤い実が枝に ヨウコウサクラはほとんど落葉

堤防に植樹された木々にも、様々な変化が見られます。

クロガネモチと思われる木には赤い、小さな実がいっぱいついていました。

一方、ヨウコウサクラの木は葉っぱをほとんど落としていました、

今年も暑い夏・秋が続きましたが、秋から冬への移り変わりを見るのは楽しいです。



③河川敷公園では老夫婦が犬の散歩



④クロガネモチの赤い実がいっぱい